

11月9日 申1号

ステーションサービス協議会 2018年度年末手当交渉を行う!



「JESS ビジョン2020」による「3つの駅づくり」の実現や、技術継承や業務改善により、「安全・働きがいのある」駅職場をめざし、日々奮闘する組合員の努力と頑張りによる結果である!

主な議論内容

【組合】

- 営業収益は64億1600万円と2017年度と比較して7億6800万円増加している。
- 受託駅箇所増加や自然災害に引き起こされる異常時対応の業務が著しく増加し、現場第一線で奮闘する組合員の努力に報いるべき。
- 経営状況は順調に推移していることから基本給月額3.0ヶ月を支払う能力は十分ある。

【会社】

- 営業収益は新規受託駅20箇所及び営業実地指導業務の受託について計画的に進んだことで113.6%の増収となったが、新人賃制度の導入による人件費の負担が拡大し純利益の減少に繋がった。
- 新規受託箇所における一時的な要員不足や自然災害時等の異常時対応、夏場の猛暑や輸送障害の対応等、安全第一で取り組んで頂いた現場の組合員の理解と協力があつたことに感謝している。
- 年末手当について、第2四半期決算の状況とこれから掛かる費用の要素を含め検討し回答したい。

職場で奮闘する組合員に応えるために満額回答を強く求める!